

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)

【公開番号】特開 2006-34727 (P2006-34727A)
 【公開日】平成 18 年 2 月 9 日 (2006.2.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-006
 【出願番号】特願 2004-220826 (P2004-220826)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 0 0 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 7 月 19 日 (2007.7.19)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

被検体に X 線を照射する X 線管装置と、
 前記被検体を透過した X 線を受像する X 線受像装置と、
 前記 X 線管装置を回転自在に支持する支持機構と、
 前記 X 線管装置に設けられて撮影条件の設定を行う操作部と、
 前記操作部に設けられて前記撮影条件を表示する表示器とを有する X 線撮影装置において、
 前記 X 線管装置の回転角度を検出する角度検出センサと、
 前記角度検出センサの検出結果に基づいて、前記表示器の表示内容を横表示操作画面または縦表示操作画面に切り替える切替制御手段とを有することを特徴とする X 線撮影装置。

【請求項 2】

前記切替制御手段は、前記表示器の表示内容を上下反転表示画面に切替可能であることを特徴とする請求項 1 に記載の X 線撮影装置。

【請求項 3】

前記横表示操作画面と前記縦表示操作画面の表示情報が実質的に同様のレイアウトであることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の X 線撮影装置。

【請求項 4】

前記表示器の縦横のドット数を同一としたことを特徴とする請求項 3 に記載の X 線撮影装置。

【請求項 5】

被検体に X 線を照射する X 線管装置と、
 前記被検体を透過した X 線を受像する X 線受像装置と、
 前記 X 線管装置を回転自在に支持する支持機構と、
 前記 X 線管装置に設けられて撮影条件の設定を行う操作部と、
 前記操作部に設けられて前記撮影条件を表示する表示器とを有する X 線撮影装置において、
 前記 X 線管装置の回転角度を検出する角度検出センサと、
 前記 X 線管装置に対して操作部を回転自在に支持する回転連結機構と、

前記角度検出センサの検出結果に基づいて、前記X線管装置の回転角度に関わらず操作部を基準方向に保持するように回転連結機構を制御する回転制御部とを有することを特徴とするX線撮影装置。

【請求項6】

被検体にX線を照射するX線管装置と、

前記被検体を透過したX線を受像するX線受像装置と、

前記X線管装置を回転自在に支持する支持機構と、

前記X線管装置に設けられて撮影条件の設定を行う操作部と、

前記操作部に設けられて前記撮影条件を表示する表示器とを有するX線撮影装置において、

前記X線管装置の回転角度を検出する角度検出センサと、

前記角度検出センサの検出結果に基づいて、前記X線管装置の回転角度に関わらず前記表示器の表示内容を基準方向に保持するように制御する表示回転制御部とを有することを特徴とするX線撮影装置。